

活断層と内陸直下型地震

林 愛明 (slin@kugi.kyoto-u.ac.jp) ・ 堤 浩之 ・ 竹村恵二 ・
浅野公之 ・ 岩田知孝

活断層やそれから発生する内陸直下型地震を研究するのに必要な、基礎的理論・野外観察と観測・データ解析・室内分析を体系的に学びます。演習は、基本的には地球物理学教室界隈で行いますが、強震動地震学の演習のうちの数回は宇治キャンパスで行います。また、週末の1日野外巡検を2~3回行う予定です(日程は相談の上決めます)。被害地震の発生源(活断層)を認定し、その動く速度や頻度を明らかにし、それが動いたときに地面がどのように揺れるのかを調べる様々な方法を学びます。

活構造学に関する演習(地球物理学教室)

空中写真判読による活断層の認定

断層変位を正確に記録するための光波測距器を使った地形図の作成

震源域での変形を再現する岩石破壊実験

地形や地層に時間の目盛りをいれる広域火山灰の分析

現地での地形地質調査実習(日帰り、琵琶湖西岸断層帯、野島断層など)

強震動地震学に関する実習(防災研究所)

弾性波動論に関する基礎的な教科書の輪読

地震計の設置と観測

地震動データによる地下構造特性の解析

